

2024年8月15日

芝浦機械株式会社

芝浦機械 新TVCM

阿部 寛さんの頭から離れない“芝浦マシーン”とは!? “まだこの世界にないモノを、つくるマシーンを、つくる。” すごい企業だった

「ALWAYS 芝浦マシーン」全2篇（各15秒／30秒）

8月15日（木）から放送

芝浦機械株式会社は、俳優の阿部寛さんをイメージキャラクターとして起用した新TVCM「ALWAYS 芝浦マシーン」（全2篇／15秒、30秒）を制作し、8月15日（木）から放送いたします。



新TVCM「ALWAYS 芝浦マシーン その1」篇より

1938年（昭和13年）に創業して以来、初のTVCMとなる本作は、当社が日本を代表する企業としての誇りを持ち、多くの社員が「モノづくりを通じて社会に貢献する」という使命を背負って日々開発に臨んでいることを、より多くの皆さまに知っていただきたいという思いで制作しました。芝浦マシーンが製造する一般的に知られていない製品をご理解いただくにあたり、その「わかりにくさ」をあえて武器として捉え「おもしろさ」に変換する表現を採用。「まだこの世界にないモノを、つくるマシーンを、つくる。」というフレーズに昇華し、インパクトのあるスローガンとして発信しています。

TVCMは阿部寛さん演じる熱血ベテラン刑事が、捜査情報を整理しながらも「つい、芝浦機械のことばかり考えてしまう」というユニークなストーリーで、「すごいヤツを作り出したヤツを作り出したヤツもすごい…」と、芝浦機械の魅力を熱く語ります。「真剣にやればやるほどおもしろくなる！」と阿部さんが全力で挑んだ熱血演技にご注目ください。

新TVCM 概要

タイトル	「ALWAYS 芝浦マシーン その 1」篇（15秒・30秒） 「ALWAYS 芝浦マシーン その 2」篇（15秒・30秒）
出演	阿部 寛／中島 歩
放送開始日	2024年8月15日（木）から順次放送

※本TVCMの映像は芝浦マシーン（芝浦機械）公式YouTubeチャンネルでもご覧いただけます。

「ALWAYS 芝浦マシーン その 1」篇（15秒）https://www.youtube.com/watch?v=E5BU_jWo1do
(30秒) <https://www.youtube.com/watch?v=LQ9hmHh9L2o>

「ALWAYS 芝浦マシーン その 2」篇（15秒）<https://www.youtube.com/watch?v=SKiIbzdgAbk>
(30秒) <https://www.youtube.com/watch?v=-bCABV1LQ8>

撮影エピソード

警察署内の刑事部屋をリアルに再現した撮影現場に登場した阿部さんは、早々と役に入り切り、ベテラン刑事の風格を漂わせながら監督との打ち合わせをスタート。撮影の流れを確認すると、自身のセリフを何度も何度も繰り返しながら準備を整え本番に臨みました。撮影は細かなカット割りを用いずカメラを長回しするスタイルで行われましたが、同じ演技を繰り返しながらも表現のトーンを少しずつ変えて要望に応える阿部さんの技術に、現場のスタッフもため息を漏らしていました。



芝浦機械が頭から離れなくなり、悩ましい表情で「芝浦マシーン…」とつぶやくシーンでは「濃くやったほうがいいな、ここは」と、超濃厚な演技を披露した阿部さん。幾度となく同じ場面の撮影を繰り返す中、阿部さんが「いや、今のはちょっとやりすぎだった（笑）」と我に返るひと幕も。しかし監督は、「『絶対に捕まえてやる！』っていう刑事の執念が感じられました（笑）」と、阿部さんの演技を絶賛。阿部さんは間の取り方を調整しながら、さらに濃い演技でOKテイクを獲得しました。



役柄もセリフも完璧に身体で覚え、NGを出すことなく撮影を続けていた阿部さんですが、「すごいヤツを作り出したヤツを作り出したヤツもすごい…」と複雑なセリフを繰り返していたためか「ちょっとわからなくなった…」と困った表情を見せるひと幕も。しかし阿部さんは「監督、ちょっと今のセリフ読んでみて。マネして話すから」と、独自の方法で頭をリセットしすぐに撮影を再開。また拳を握りしめるシーンでも「力が入り過ぎていたら指摘してほしい」と話し、和やかな雰囲気で撮影を進めていました。



複雑なセリフが多い撮影の中でも、張り込み中のクルマで後輩刑事と話すセリフはさらに難度が増し、阿部さんは「このセリフは難しい。まるで早口言葉だ！」と演じる前から苦笑いを浮かべていました。「濃い演技のパターンはいつも求められるから、少し軽めに言ってみようか」と気持ちを切り替えて「超ハンパないヤツを…」とセリフの練習をスタート。短い時間ながらもセリフをマスターし、リハーサルから完璧な演技を披露。順調に撮影を進めてきました。



■出演者インタビュー

——初共演となる新TVCMの撮影を終えた感想をお聞かせください。

中島さん 「結構コミカルなCMだと思うんですけど、一切それを感じさせない緊張感で（笑）。阿部さんがその緊張感を持ってきてくださり、『こうやって作るのか、本当に面白いものは！』と教わりました」

阿部さん 「“緊迫した刑事部屋”みたいな雰囲気でしたよね。そこで真剣に思い切りやっていくっていうCMだったので、そういうものって監督の“狙い”もあって、真面目にやれば真面目にやるほど笑える。そんな感じなのかなと思ってました（笑）」

——ふと気が付くと芝浦マシーンのことを考えてしまうストーリーですが、

普段の生活の中で“ふと考えてしまう”ことを教えてください。

阿部さん 「毎日その日のことしか考えていないので、今日は何しようかとか、たとえば今日だったら撮影が続くので、このあとの撮影はどこに行って何時間くらいかかるかな…とか、そういうことしか考えてないんですよ（笑）。だから休みの日は、今日1日何しようかな…昼まで何して、どうやったら1日を十分に使えるかぐらいしか考えてないですね。でも何もやることがないからスポーツクラブに行ったりとか、鍛えていることが多いですね」

中島さん 「チャック開いてないかな？というは…撮影中はありますよね（笑）。誰にも見えていないようなところでスッと確認したりしています（笑）。今日も『お願いしま～す！』と入ってくるフリをしてスッと…『閉まってるな』って（笑）」

阿部さん 「オレもよくあるよ（笑）」

——「まだこの世界にないものを、つくるマシーンを、つくる。」がテーマですが、あつたら嬉しいマシーンを教えてください。

中島さん 「チャックが閉まってるか…いや、自動的に閉めてくれるズボン。そんなマシーンがあつたらいいですね（笑）」

阿部さん 「ほとんど毎日開けてるんだね（笑）」

中島さん 「いやあ、そんなことも…でも結構開いていることがあるので…」

阿部さん 「やっぱり…タイムマシーンが欲しいですね。タイムマシーンを作るマシーン。タイムマシーン1台で壊れたら嫌だから、それを作つて何台も。過去に戻つてすごい時代…あのときのあの武将の時代とか、ちょっと見てみたいですね。本当に歴史が合つているのか、自分の目で確認してみたいし、どんな人物だったのか、実際その歴史と違つてどういうふうになるのかを見てみたいって思いますね」

キャスト

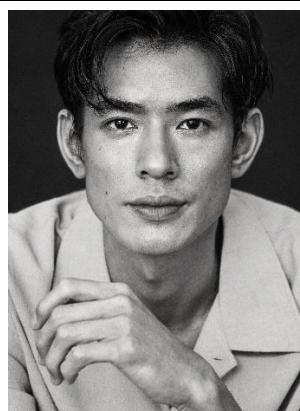


先輩刑事役

阿部 寛

Hiroshi Abe

1964年6月22日生まれ
神奈川県出身



後輩刑事役

中島 歩

Ayumu Nakajima

1988年10月7日生まれ
宮城県出身

ストーリーボード①

「ALWAYS 芝浦マシーン その1」篇（30秒）※15秒版もあります



阿部さん
「最近よく考えるんだが」



中島さん
「先輩…」



阿部さん
「すごいヤツってのは
すごいよな？」



阿部さん
「作りだしたヤツも」



阿部さん
「なら、すごいヤツを
作りだしたヤツも
すごいだろ？」



阿部さん
「すごい…」
中島さん
「先輩！
また芝浦マシーンのこと
考えてます…」



阿部さん
「だとすると
すごいヤツを
作りだしたヤツを
作りだしたヤツも
すごいんだ」



阿部さん
「…すまん」



阿部さん
「つまり」



(阿部さんナレーション)
まだこの世界にないモノを
つくるマシーンを
つくる



阿部さん
「すごいヤツを
作りだしたヤツを
作りだしたヤツを」



阿部さん
「SHIBAURA
MACHINE」

ストーリーボード②

「ALWAYS 芝浦マシーン その2」篇（30秒）※15秒版もあります



阿部さん
「ハンパないアスリート
って言ったら
誰を思い浮かべる？」



阿部さん
「生みだしたヤツは
もっと超ハンパなく
ないか？」



阿部さん
「言うな」



中島さん
「また芝浦マシーンのこと
考へてます…」

中島さん
「え、なんで？」

阿部さん
「権利関係だ」

中島さん
「権利関係…」



阿部さん
「で、そいつを生み出した
ヤツもハンパないだろ？」



阿部さん
「どうしちまったん
だろうな俺は…」

中島さん
「超ハンパないっす…」



阿部さん
「じゃあ
その超ハンパないヤツを
超ハンパなくした
ヤツは？」



(阿部さんナレーション)
まだこの世界にないモノを
つくるマシーンを
つくる



阿部さん
「超ハンパないヤツを
超ハンパなくしたヤツを」



阿部さん
「SHIBAURA
MACHINE」



スタッフリスト

CD / AD		TUGBOAT
CD / PL / CW		TUGBOAT
BP	小田 貴史	電通
	光武 孝明	電通
	菅谷 祐樹	電通
プロデューサー	野中 直	東北新社
	岡村 龍之介	東北新社
PM	青山 もらる	東北新社
	中上 拓弥	東北新社
	安東 賢宏	東北新社
監督	泉田 岳	TOKYO
撮影	近藤 哲也	THE OCTOPUS
照明	阿部 良平	フリーランス
美術	都築 雄二	都築雄二デザイン室
スタイリスト	櫻井 賢之	フリーランス
ヘアメイク（阿部寛さん）	AZUMA	M-rep
ヘアメイク（中島歩さん）	anna	M-rep
キャスティング	ヤマウチ トモカズ	kosei
	アベ ジュン	kosei
	スズキ ヒロノブ	kosei
オフラインエディター	石井 沙貴	IMAGE STUDIO 109
カラリスト	大角 綾子	THE DIRECTORS GUILD
本編集エディター	渋谷 美久	オムニバス・ジャパン
ミキサー	太斎 唯夫	フリーランス
SE	富田 奈津実	ハオン
音楽	山田 勝也	愛印

企業紹介

まだこの世にないモノを、つくるマシーンを、つくる。～SHIBAURA MACHINE～

[会社概要]

商号	芝浦機械株式会社 (SHIBAURA MACHINE CO., LTD.)
代表者	代表取締役社長 坂元 繁友
本社所在地	東京都千代田区内幸町 2-2-2 富国生命ビル
	TEL : 03-3509-0200 FAX : 03-3509-0333
創業	1938年（昭和13年）12月
設立	1949年（昭和24年）3月
公式サイト	https://www.shibaura-machine.co.jp
公式YouTube	https://www.youtube.com/@SHIBAURAMACHINE